

太宰府市短歌ポスト第百二十九期

入選歌(令和八年二月二十七日)

撰者 竹森 祐彦

火の粉散る煙の向こう祈りあり疫を祓わん鬼すべの宮

福岡市 齋藤 真左樹

君を追い飛べる翼のなき身なり飛梅の空仰ぐばかりで

愛知県 吉川 奏

吹く風も日差しもやさししおうじ四王寺山のほとりの森に秋よもぎ摘む

春日市 田久保 節子

年の瀬の天満宮に訪れし人々迎え梅は春待つ

熊本県 福山 慎二

外堀と内堀埋めるコスモスの満開讚え水城跡行く

太宰府市 石川とよみ

天満宮枯葉舞い散る冬支度ご利益込めて破魔矢を削る

福岡市 古賀幸人